

「第 2 次宇都宮市上下水道基本計画」について

1 基本計画の策定について

- ・ 今年 3 月に第 2 次基本計画を策定
- ・ 今年度より、第 2 次上下水道基本計画における 3 つの基本方針と 7 つの実現方策のもと、施策・事業を推進 ※ 第 2 次基本計画書 P26, 27 参照

2 第 3 回懇話会における意見等について

- ・ 計画の柱 4『環境負荷低減の推進』の施策指標である「エネルギー消費量」の説明書きを下表網掛け箇所のとおり追加

	指標名	現状値 (平成 28 年度末)	目標値 (平成 34 年度末)
P49	エネルギー消費量 (原単位)	56.51 <sup>キロ</sup> リットル／年	5% (年平均 1%) 削減
上下水道事業における、電力などの年間エネルギー消費量を表わすもので、環境に配慮した取組を推進することにより、エネルギー消費量を減らします。 <span style="background-color: yellow;">※エネルギー消費量 (原単位) は、国 (経済産業省) の基準を踏まえ、局庁舎の延べ床面積や浄水場における配水量、水再生センターにおける処理水量に対する各施設の電力などの消費量 (原油換算) の数値として算出</span>			

- ・ 第 2 次基本計画における専門用語の解説として、用語解説を作成 (P60 参照)

3 施策指標の設定について

- ・ 第 3 回懇話会時に調整中であった 2 つの施策指標について、下表のとおり設定

	指標名	現状値 (平成 28 年度末)	目標値 (平成 34 年度末)
P42	下水道の重要な幹線管路の耐震適合率	76.2%	82.4%
耐震診断を実施した下水道の重要な幹線管路のうち、耐震性があると評価された管の占める比率を示したもので、計画期間中に着実に耐震性を高めます。 ※下水道の重要な幹線管路：基幹施設である川田水再生センターに汚水を流す幹線管路のうち、中心市街地の規模の大きい避難所や災害拠点病院等の多くの汚水を受け入れる幹線管路			
P51	企業債残高 (上下水道合計)	944 億円	740 億円以下
建設改良事業に必要な財源として、財務省などから借り入れた資金の残高を表すものです。今後も、毎年度の借入額について償還額以内の借入を行うことで、健全な経営を推進します。			